



健康ビジネス連峰構想

「健康・福祉・医療」のニーズに応じた  
新潟県産業のイノベーション

健康・福祉・医療新産業ビジョン

# 健康ビジネス連峰構想 平成18年度成果報告

健康ビジネス連峰構想シンポジウム2007  
2007/3/16 資料 300名参加

# 健康ビジネス連峰構想とは？

- 新潟県の高付加価値型産業作りの基本戦略
- 農業、建設、食品、観光、ものづくり、サービスなど幅広い分野の連携が、新たな価値を創造
- 科学的根拠のある異業種・異分野連携を推奨
- 他業種の新規事業進出も想定
- 07年度までに20のモデル事業輩出が目標

# なぜ健康か？健康ビジネスとは？

- 少子高齢化＝個人の健康ニーズ
- 医療費増大＝予防医療への社会ニーズ
- 人口減少時代でも市場の伸びが期待

## 健康・福祉・機器・サービス市場

	2002年	2010年
市場規模	約56兆円	約75兆円
雇用規模	約551万人	約750万人

## <構想で意図する健康ビジネス>

- 健康ビジネスとは、健康・福祉・医療にかかわる、農林水産業、食品産業、機械工業、サービス産業、観光産業、医療・福祉産業等幅広い産業にわたるイノベーション
- イノベーション：技術に限らず、新しい市場、新しい組織、新しい売り方を
- 連携を推奨：何故なら消費者のニーズは業界縦割りではない。

# なぜ連携か？

- 健康増進・維持＝病気予防ビジネス
- 身体機能低下への対応ビジネス
- 快適に暮らすことへの対応ビジネス
- 医療周辺ビジネス
- これらを支えるビジネス

IT・IT関連  
医療・福祉機器製造  
金属加工  
建設業  
中食・給食  
外食  
小売  
食品製造  
鉄工業  
医薬品  
潜在型観光  
医療サービス  
福祉サービス  
健康サービス

「健康ニーズ」＝伏流水

# 県の役割と民間の原則・方針

- 民主導＝県はコーディネーター
- トップマネジメントの意志
- ビジネスプレーヤーの存在（建設業、食品、製造業）

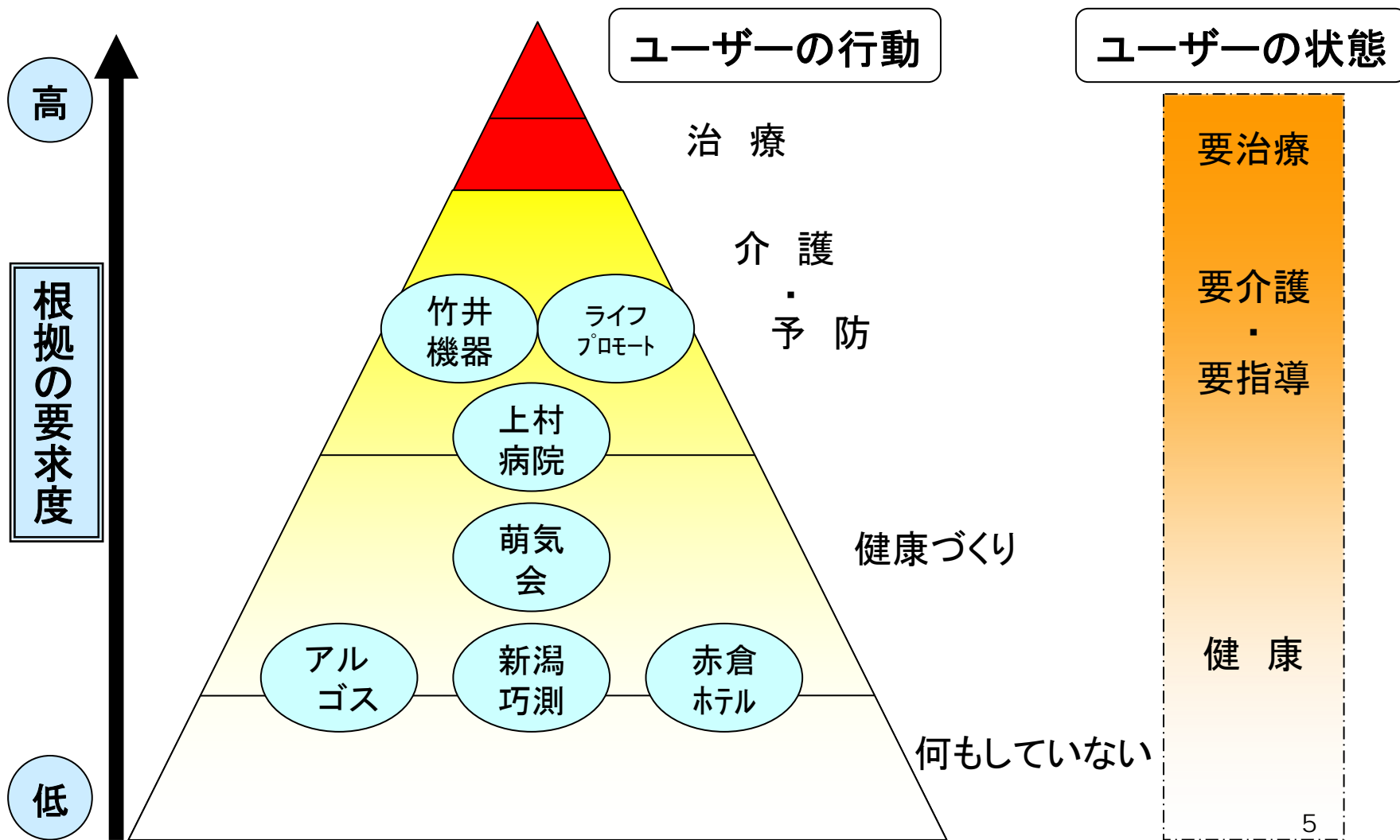
## <3つの原則>

- ①資源を生かす（主体・環境）
- ②医学的、科学的根拠
- ③楽、美、簡（顧客ニーズの実現）

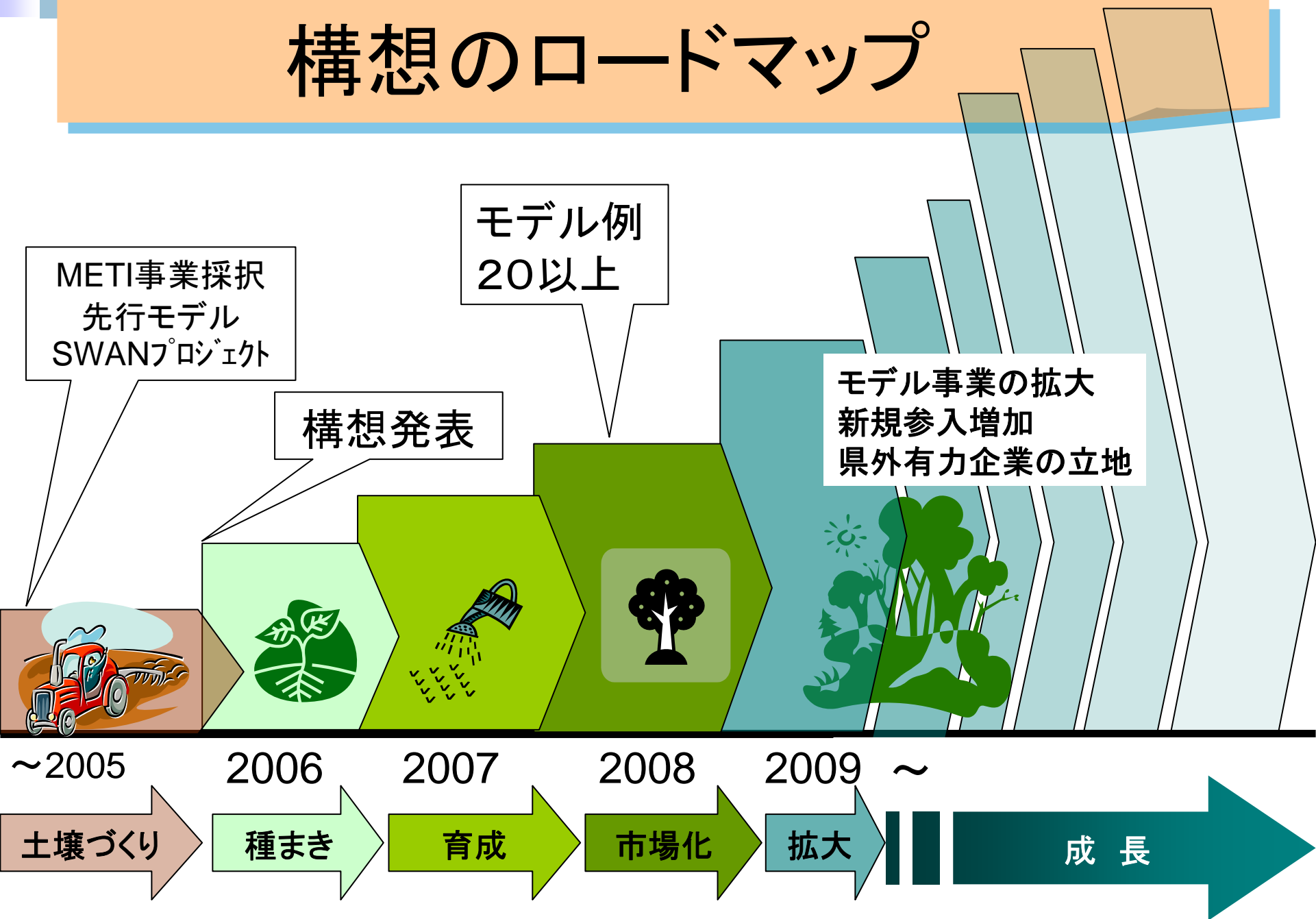
## <ひとつの方針>

- 一人でやらない、連携する

# 構想における医学的・科学的根拠のレベルとモデル事業の位置づけ



# 構想のロードマップ



# 構想推進の視点

- 成功事例(トッパー)の輩出  
〔シーズ発見支援、参入促進〕
- 水平型連携の促進  
〔産学連携、異業種企業連携ネットワーク形成〕
- 基盤の充実強化  
〔推進体制・情報発信体制の整備〕

# 広報活動の展開

- ホームページの開設(H19.1.17)

独自ドメイン=<http://www.kenko-biz.jp/>

3/31現在 アクセス数:3,815件 ページビュー数:36,200件  
(1日平均52件)

- 連峰構想シンボルマーク策定



**健康ビジネス連峰構想**

「健康・福祉・医療」のニーズに応じた  
新潟県産業のイノベーション

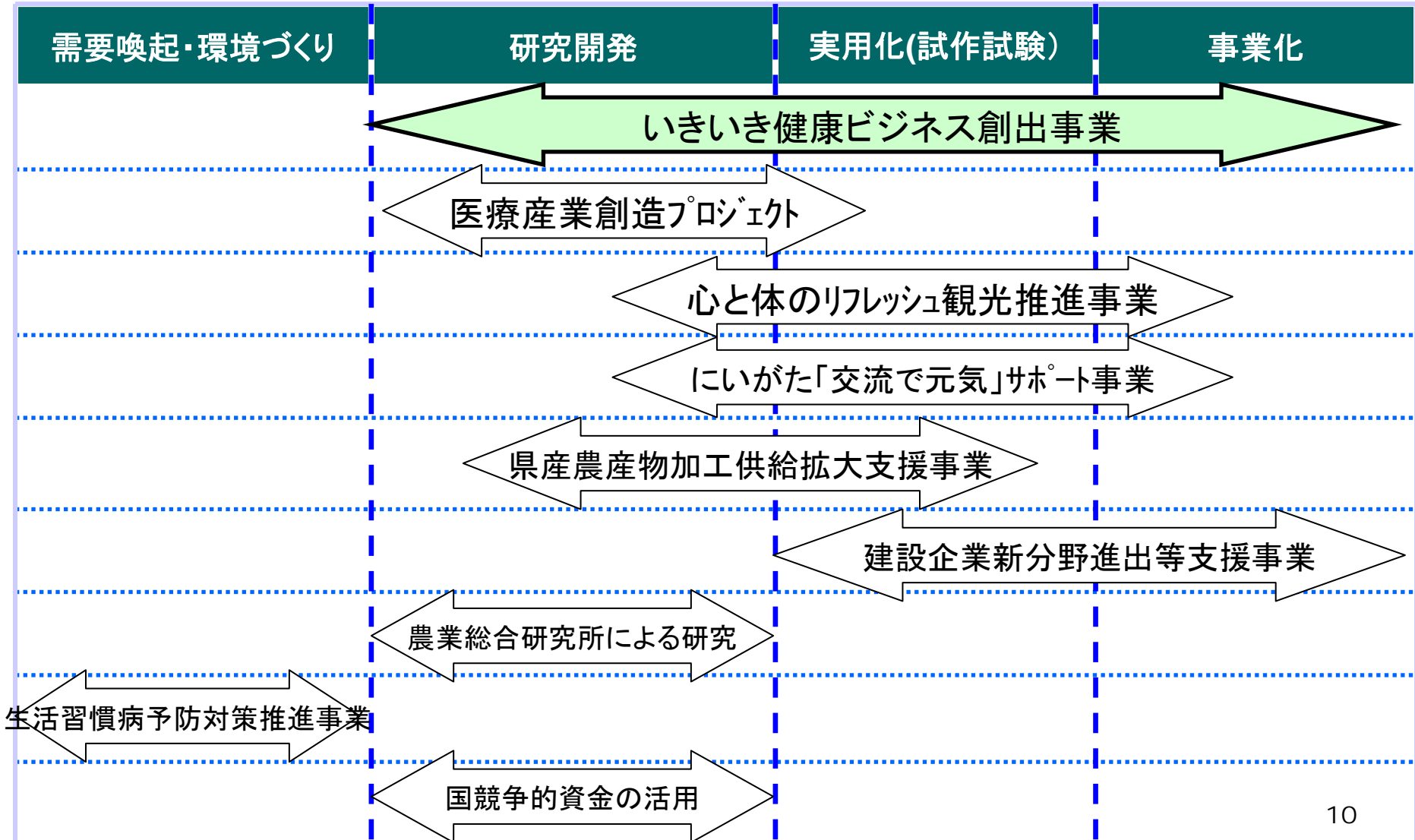
支援するプロジェクトにも、県が応援するシンボルとして使用

# 平成18年度の主な取組（施策）

## 健康ビジネス連峰構想の基幹事業

施策名	概要
いきいき健康ビジネス創出事業 (健康関連ビジネスモデル推進事業)	健康・福祉・医療関連ビジネスに関して、先導的な地域の取組や企業同士の連携による製品やサービスの開発に対して助成
医療産業創造プロジェクト	にいがた産業創造機構が、テーラーメイド医療に対応したデバイス及び手術支援装置等の開発など産学官連携による取組を支援
心と体のリフレッシュ観光推進事業	市町村等による「心と体をリフレッシュする旅づくり」をテーマとした観光資源の再発見・開発の取組に対して助成
にいがた「交流で元気」サポート事業 地域資源型ビジネス提案・成果評価事業	中山間地において、農村生活・郷土伝統食など都市農村交流を基盤とする自由な発想の地域資源型ビジネスの取組に対して助成
県産農産物加工供給拡大支援事業	「県産農林水産物を活用した高付加価値加工食品」の開発及びマーケティング活動等に対して助成
建設企業新分野進出等支援事業	建設企業の新分野・新市場への進出や合併・協業化などの企業連携に対する支援
農業総合研究所における健康・食品関連の研究	稲や山菜の持つ機能性を利用した食品素材の研究などを実施
生活習慣病予防対策推進事業	生活習慣病予防のため、市町村や企業等と連携しながら、ウォーキングロードマップの作成、健康づくり支援店募集等を実施。

# 施策と支援範囲



# いきいき健康ビジネス創出事業による トップランナーの育成・輩出と連携の促進

- 地域の企業や団体等の多様な組織が連携して取り組む「健康産業発展の道標」となる先導的プロジェクトに必要な経費を補助
- 最大2年間支援（1年目1/2補助、2年目1/3補助）
- 地域モデル枠と異業種企業連携枠の二つのカテゴリー
  - 【地域モデル枠】地域資源を活用したサービスの構築
  - 【異業種企業連携枠】異業種・異分野の企業や団体が互いの経営資源で補完しあい、食・機器・サービスを開発

# 1年目の取組成果①

## ～エビデンスの手法・ネットワークを構築～

代表	担当機関	手法	目指すエビデンス
①(財)上村病院	上村病院	ツアー前後に血液・CT検査と体力測定	コレステロール値、中性脂肪、血糖値等の改善
②(医)萌気会	萌気会	唾液・血圧及びメンタルチェック 地元向けは血液検査も	唾液・血圧からストレス度低下 太極拳で腹位と体重減少
③新潟巧測(株)	地元診療所 新潟薬科大	健康チェックシートに基づくセミオーダーの薬膳	ツアー後の薬草茶の継続飲用 勧奨で効果をフォロー
④(株)赤倉ホテル	上越教育大	「温泉&体操」効果:姿勢を測定 「運動」効果:心拍数・血圧測定	姿勢矯正、心拍数等低下
⑤竹井機器工業(株)	奈良教育大 高齢者施設	専門的知見による運動生理学的データ解析とモニタリング	低体力高齢者等の歩行速度、歩幅、つま先上げの改善
⑥(有)ライフプロモート	新潟医療福祉大 新潟リハビリ病院	聖籠町住民の協力でヒト試験を実施	膝痛緩和、歩行速度や開眼片脚立位の向上
⑦(株)アルゴス	新潟薬科大	ドジョウ成分の分析と妙高ドジョウ成分優位性を検証	カルシウム等豊富な成分検証 (妙高ドジョウの優位性未確認)

※いずれも、2年目にデータを積み重ね有意な結果を得る必要がある。

# 1年目の取組成果②

～幅広い参入による有効な連携のビジネスモデルが出そろった～

## ◆連携の形とビジネスモデル

	一次産業	二次産業		三次産業				医・学	活用資源	ビジネスモデル
上村	地元農家			食品販売	ホテル業			医療機関	地形・温泉・地場食材等地域資源	交流型健康サービス
萌気			酒造業	酒類販売	旅館業		商工団体	医療機関	自然・温泉・地場食材等地域資源	交流型健康サービス
新潟巧	農家団体	お茶製造	菓子製造		旅館業	測量設計		医療機関大学	野草・自然・観光等地域資源	一次産品活用・交流型健康サービス
赤倉		建設業	酒造業	ホテル業	旅館団体	旅行業	ソフトウェア業	大学	自然・温泉・地場食材等地域資源	IT活用・交流型サービス
竹井			機械工業				高齢者施設	大学	機器開発ノウハウ 大学知見	機器開発
ライフ			食品製造	食品添加物卸	食料品卸売		医療機関	大学	食品素材開発ノウハウ・食材販路	機能性食品開発
アル	農家団体	食品加工	醸造業	特産品販売	飲食店団体	建設コンサル		大学	水産・自然資源 コンサルノウハウ	水産食材特産化・ 総合展開

※点線枠は外部協力者

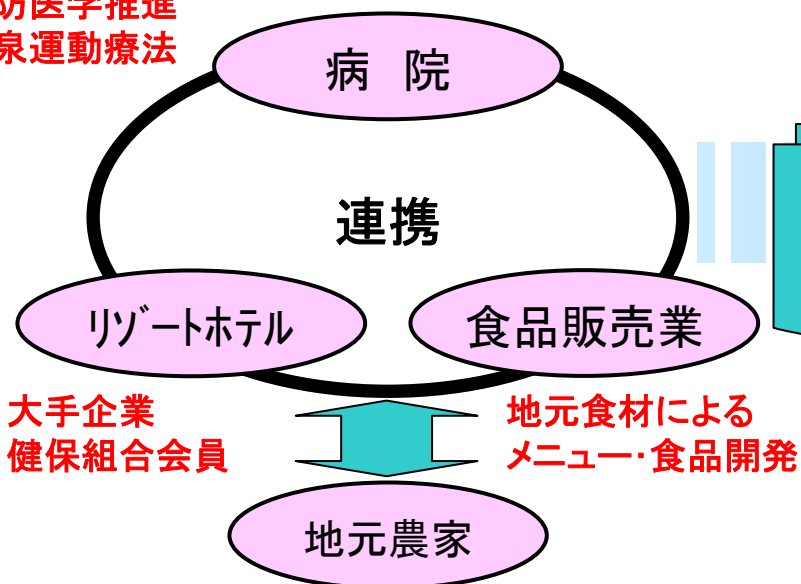
# ①「予防医療-観光産業地域」 の展開

代表:(財)上村病院(十日町市)

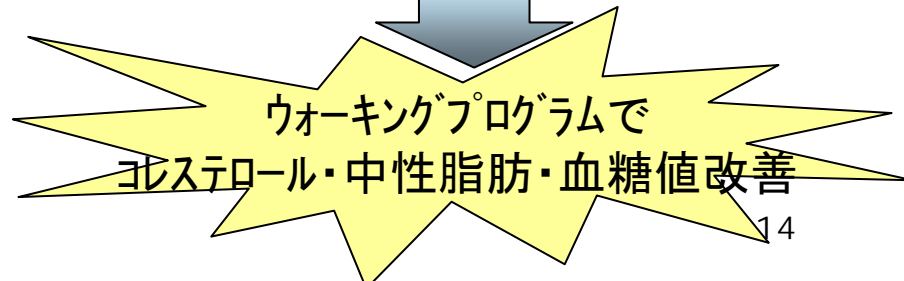
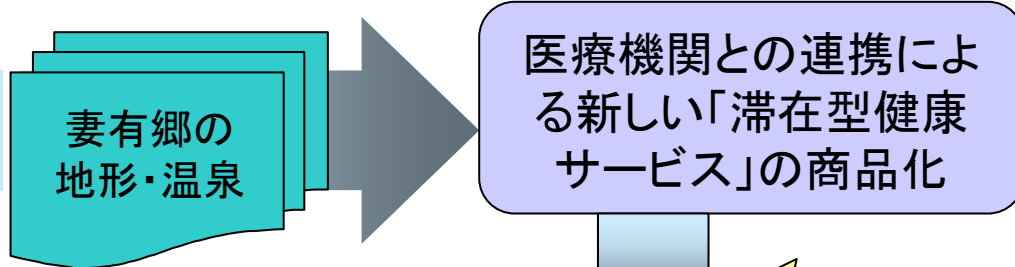


- リゾートホテル「ベルナティオ」の滞在者に対し、上村病院監修によるオプションメニューで健康診断+運動予防プログラム+健康的地元食を提供

予防医学推進  
温泉運動療法



4泊5日パワーウォーキング  
ファスティング



## ②魚沼ほろ酔いプロジェクト 代表:(医)萌気会(南魚沼市)

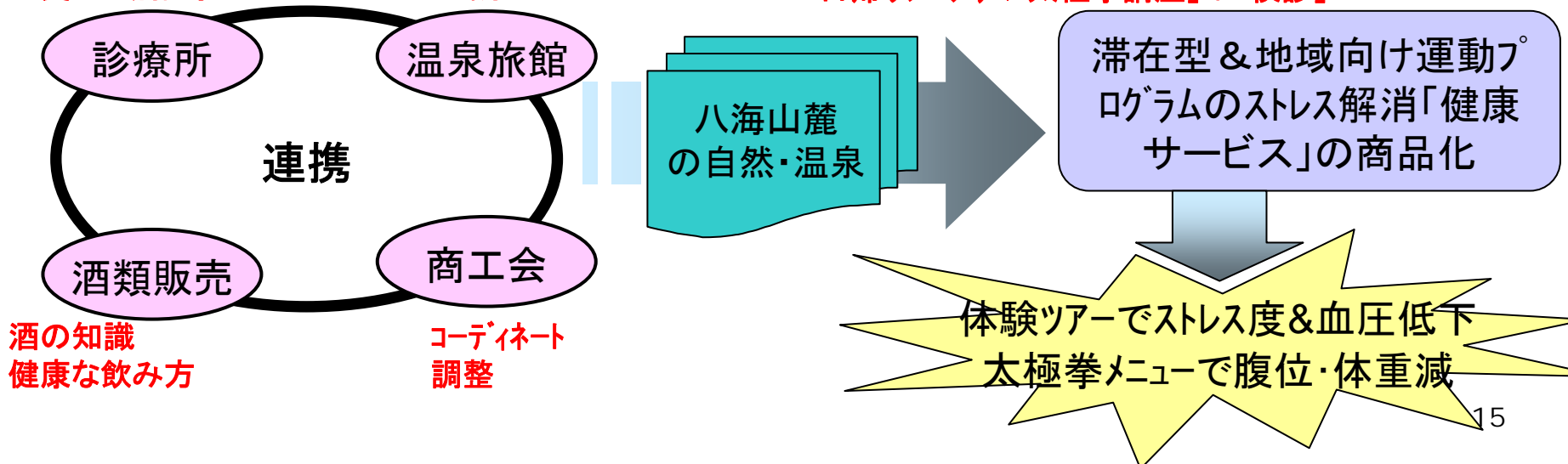


- 日本酒の飲み方、伝統料理や薬石浴等によるストレス解消できる「楽しんで健康づくり」の健康メニューの開発
- 2泊3日の体験ツアーと地域向け運動プログラム(太極拳など)

健康チェック・メニュー作成  
栄養・運動指導

コーディネート  
調整

2泊3日ツアー「地元食材」+「健康講座」+「体験メニュー」  
日帰りプログラム「太極拳講座」+「検診」



### ③北越後薬膳ツーリズム 代表：新潟巧測(株)(村上市)



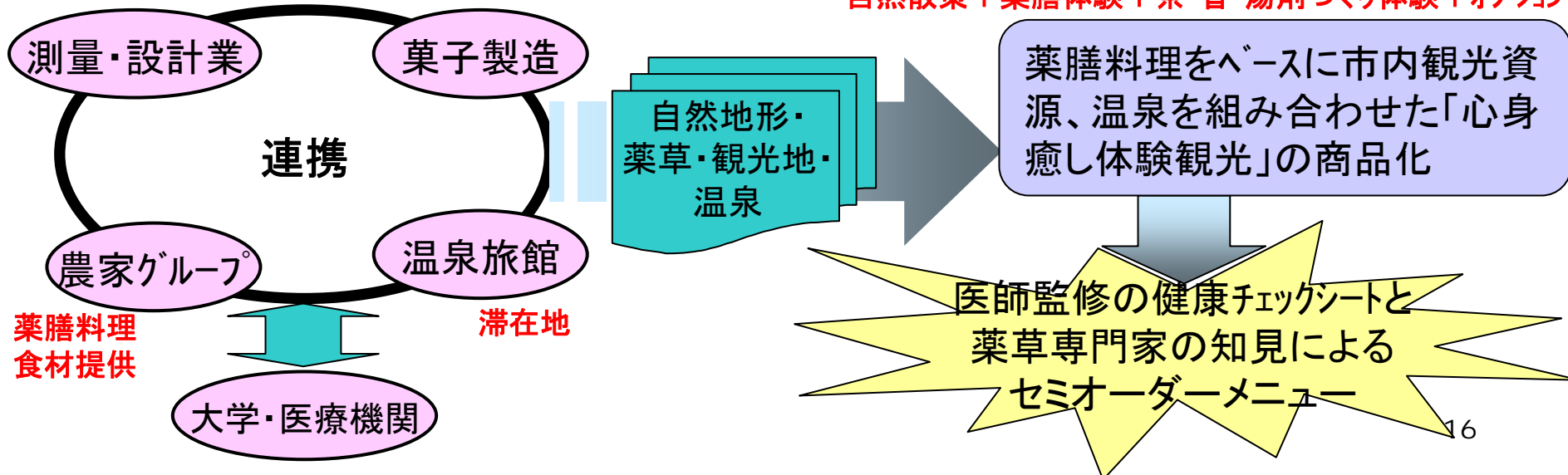
- 越後最古の名刹「曹洞宗・耕雲寺」の周辺に自生する薬草と城下町村上の観光資源を組み合わせた、「健康サービス」の開発
- 薬草による茶、菓子、入浴剤の特産品化と販売システムの構築

事業企画・設計  
体験コースづくり

特産菓子開発

日帰り&1泊2日コース

自然散策+薬膳体験+茶・香・湯剤づくり体験+オプション

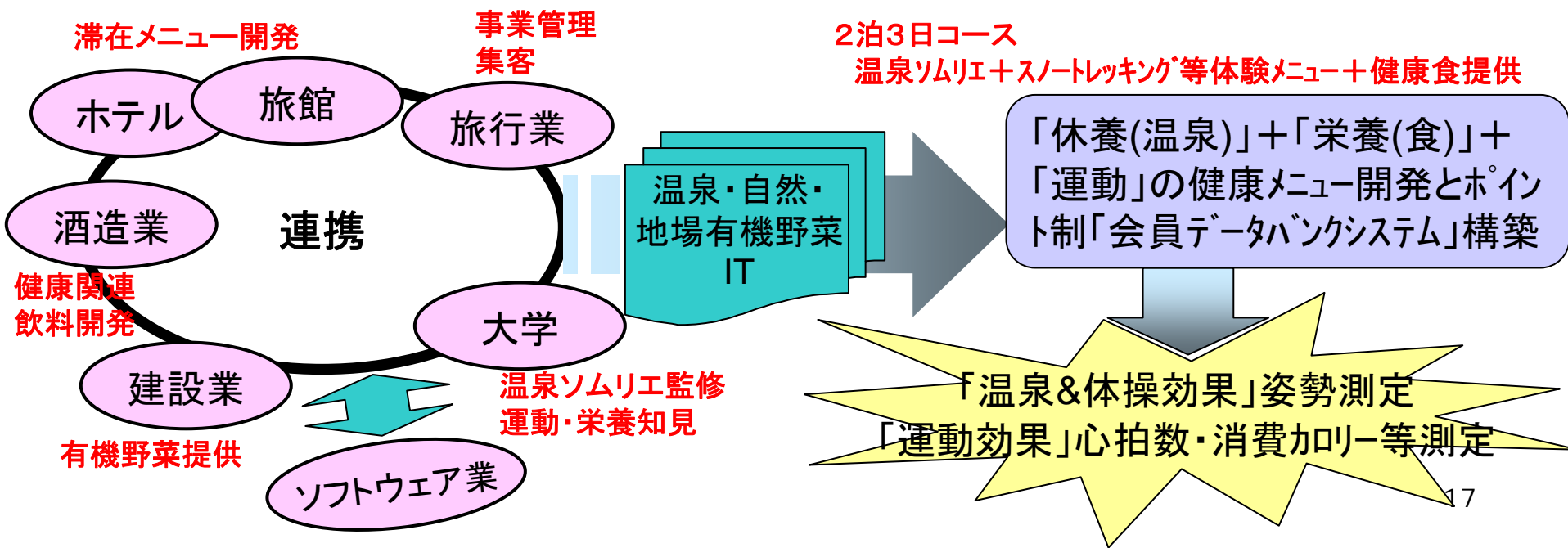


# ④湯喜プログラム

代表：(株)赤倉ホテル(妙高市)



- 赤倉温泉をフィールドとして、「温泉」+「栄養(食)」+「運動」による新たな健康サービスメニューの開発とIT活用による健康体験をポイント化。



## ⑤「健歩くん」

代表：竹井機器工業(株)(新潟市)



- 測定機器開発のノウハウを活かし、高齢者下肢筋力の維持・改善に有効な脚トレーニング器を軽量・小型で安価に開発

人間工学的な  
機器製造の実績

機械器具製造

連携

大学

高齢者施設

モニタリング  
データ収集

運動生理学的  
データ解析  
運動プログラム

機器開発ノウハウ  
産学ネットワーク

「自重付加・椅子スライド式  
トレーニング器」

手軽で効率的、安価で  
安全性の高い脚トレ  
ーニング器の商品化

要介護の低体力高齢者等の  
歩行速度、つま先上げ向上

## ⑥ 県特産資源由来の機能性食品 代表：(有)ライフプロモート(新潟市等)

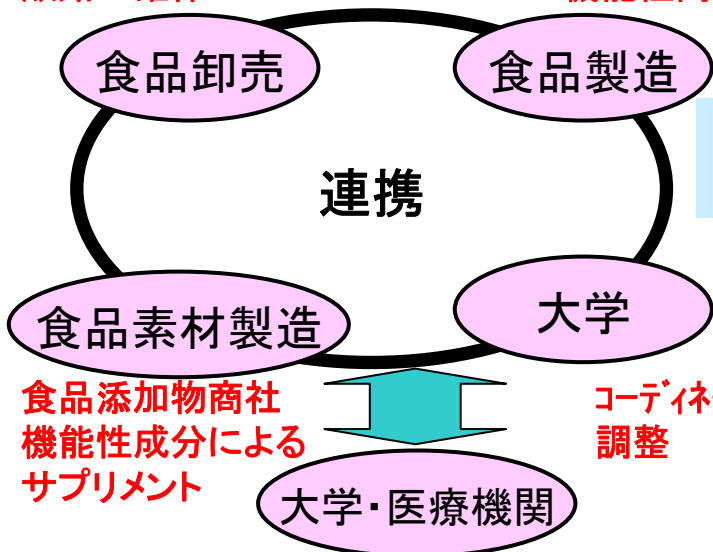


- 県特産食品資源であるマイタケ、魚介類、穀類の有する機能性成分を利用した食品を開発・事業化。

県内老健施設等  
販路の確保

マイタケ等由来  
機能性商品

魚介類由来クレアチン・コンドロイチン成分  
マイタケ由来ビタミンD 等



県特産資源  
食品素材開発  
ノウハウ・食材販路

県特産資源由来の機能性成分を用いた“新潟県発”の骨・筋力強化食品と嚥下対応食品の開発

3か月のヒト介入試験により  
膝痛緩和を実感  
開眼片脚立位向上も

# ⑦ 妙高どじょうプロジェクト

代表：(株)アルゴス(妙高市)

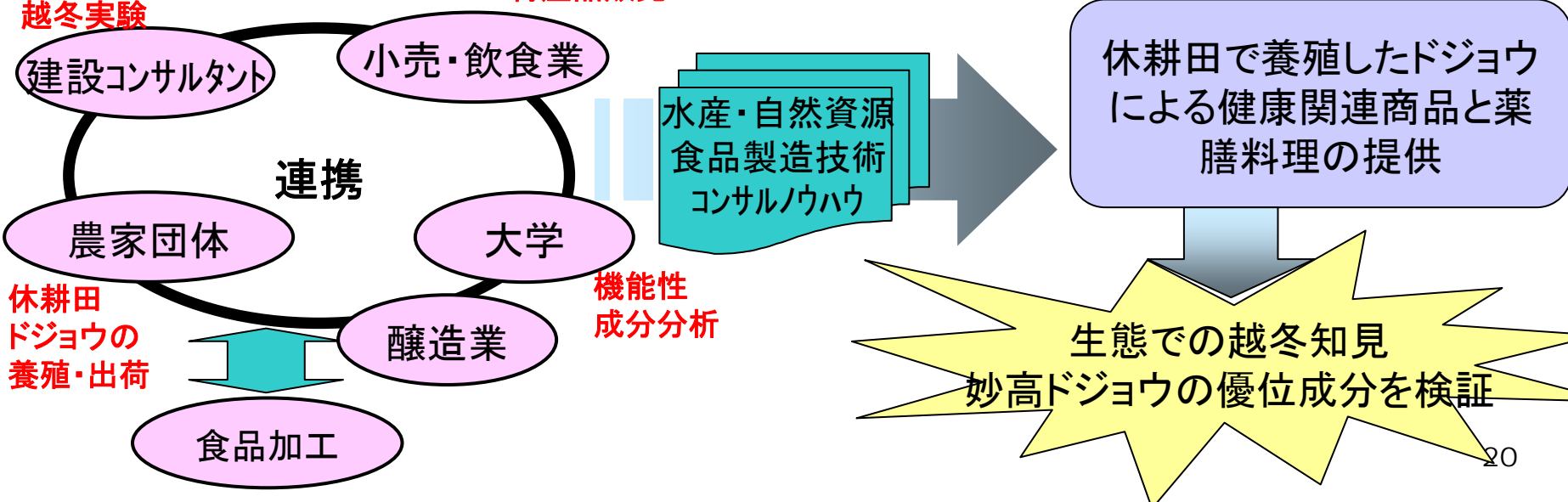


- 建設コンサルのアルゴスが総合商社となり、ドジョウの養殖・出荷、地場の名物料理、食品加工特産品(機能性を検証した健康食品)等「ドジョウ＝健康」のビジネス展開

健康ビジネス総合商社  
ドジョウ稚魚生産・  
越冬実験


料理提供  
特産品販売

健康食材ドジョウ:カルシウムはうなぎの10倍  
ほか鉄分、ビタミンが豊富



# 2年目に向けて

- 基盤づくりから大きな動きへのステップアップ  
＝種まき・育成→市場化へ
  - 支援プロジェクトの着実な事業化
  - 次に続くインパクトある成功事例の育成
  - 新たな新規参入の拡大



**アウトカムの明確化**

指標：売上、雇用、集客 etc.